



8.働きがいも 経済成長も  
9.産業と技術革新の基盤をつくらう



タンリン工科大学の学生と佐藤さん(右下)。授業には300人ものが出席する。

## ミャンマー就活物語

ミャンマーのヤンゴンで通勤バスを待っている、教え子からの電話が鳴った。「先生！日本企業に就職が決まりました！」私は、就職に必要なパソコンスキルを学生に身につけてもらうため、ミャンマーのタンリン工科大学でIT指導を行っていた。教える前は低いと思っていた学生のITレベルは、実際に授業を行ってみると違った。ほとんどの学生が就職に必要な基本的なレベルのITスキルがある。では、なぜ大学生は卒業後に就職難に直面するのか。学生と対話するなかで見つけた課題は、彼らが就職のために何をすべきかを知らないことだった。ミャンマーでは学生は大学卒業まで勉強に専念し、就職活動は卒業後に開始する。日本のように大学で就職支援を行っていないのだ。

そこで私は、1年後に卒業をむかえる学生に「日本ビジネスマナー講座」を開き、履歴書の書き方や面接の受け方などについて教えることにした。出席者は開始当初8人ほどだったが、回を重ねることに興味を持つ学生が増えて5回目には200人を超えた。また講座の締めくくりには、大学近辺にあった日系企業の協力を得て、企業説明会や新卒者採用を行ってもらった。その結果、日系企業に就職する学生が次々と増えていった。

現在、日本で働く教え子もいる。「日本でITスキルを身につけて、10年後ミャンマーに恩返しします」と語っていた。教え子たちがミャンマーで活躍する日が楽しみだ。

今回の投稿(文と写真)佐藤美和子さん

2020年7月までミャンマーのタンリン工科大学でJICA海外協力隊として活動。地元宮崎を離れ2年、大学で一緒に働く現地の教員や学生と、宮崎なまりのミャンマー語を駆使して交流した。

### あなたの投稿をお待ちしています！

「わたしが見つけたSDGs」に写真と文章をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題やその解決に向けた取り組みのエピソードなど、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。

応募要項：写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。

\*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先▶ML\_JICAPR@jica.go.jp(「mundi」編集部宛て)



### SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)と  
JICAの取り組み

